



PICK UP
女子

小谷
菜津美
(大槻麗)
【ダンロップ】

● 社会人2年目の小谷は、昨年は全日本シングルス2位、そして今大会直前に行われた全日本選手権では大槻麗とのペアで準Vと好成績を叩き出している。今大会は1次リーグで競り合いを演じたものの、2次トーナメントでは堂々とした戦いぶりです。3次リーグ進出。

第8回 アジア選手権 激戦 3次リーグは来

取材◎八木陽子 写真◎松村真行
★関連記事、記録70ページから



森田奈緒
(神谷絵梨奈)
【ヨネックス】

● 社会人3年目の森田。今大会は神谷とペアを組んで1次リーグ1敗を喫したものの、その後は引き締めて確実に最終リーグへとコマを進めた。2014年アジア競技大会、2015年世界選手権代表と着実に日本女子・後衛の一角を担っている。

(富田真愛) /
小林美咲
【どんぐり北広島】

● 2014年は全日本選手権3位、2015年世界選手権日本代表予選会でも最終リーグに残った小林。今季は全日本シングルスで8強。ダブルス(個人戦)では文大杉並高の後輩・富田を牽引し、全日本選手権8強。そして今大会も3次リーグまで強い気持ちで勝ち残っている。

【3次リーグ進出】

柿崎あやの / 黒木瑠璃華 (ヨネックス)
富田真愛 / 小林美咲 (どんぐり北広島)
小谷菜津美 / 大槻麗 (ダンロップ)
森田奈緒 / 神谷絵梨奈 (ヨネックス)



● 11月7日(土)～9日(月) 大阪府・鞆(うづぼ)テニスセンター 大会日本代表選手予選会 延長! 年1～3月の間に

インド・ニューデリーで11月18～21日に開催される2015年世界選手権を目前に控えた11月7日から、大阪府・鞆公園テニスコート(ハードコート)で2016年の代表を選出する「アジア選手権日本代表予選会」が開催された。初日に1次リーグ、2次トーナメント途中までを終了。大会2日目は断続的な雨が続き順延となり、順延の9日(月曜)もまた曇り空からのスタートに。午前中は試合ができたが、午後はまたも雨天のため延期が決定した。

9日の男子は、3次リーグへ進出できる最後の1枠を巡って2次トーナメントの1対戦(村上雄人/井口雄介vs篠原秀典/小林幸司)を終了し、3次リーグ2対戦(船水雄太/九島一馬vs安藤優作/安藤圭祐、水澤悠太/長江光一vs篠原/小林)までを実施。船水組vs安藤組は船水組が勝利、しかし、水澤組vs篠原組の対戦は、G2-2の3-3で中断。女子は2次トーナメント2回戦の4試合が終了した時点で天候回復を待った。

最終の3次リーグを前に、またも雨天のため、男女3次リーグ進出ペアが決定した時点で延期が決まった。残りの3次リーグについては、11月15日時点で2015年内の開催はなく、来年以降年度内(2016年1～3月)の開催を予定している。



大会2日目が延期された9日(月)も、午前中は試合を行ったが、午後は雨天で延期が決定となった(写真・太田裕史)

【3次リーグ進出】
水澤悠太 / 長江光一 (NTT西日本広島)
篠原秀典 / 小林幸司 (日体桜友会 / ミズノ)
安藤優作 / 安藤圭祐 (早稲田大)
船水雄太 / 九島一馬 (早稲田大)



PICK UP
男子

船水雄太
(九島一馬)
【早稲田大】

● 2015年世界選手権代表でもある船水雄と高校からの盟友・九島のペアは期待どおりの活躍。2次トーナメント2回戦では東北高の同期・丸中大明/鈴木琢巳とのファイナルの競り合いを制して3次リーグ進出を決めた。



安藤優作
(安藤圭祐)
【早稲田大】

● 安藤優作は早稲田大1年ながら、兄・圭祐とのペアでインカレではダブルス優勝、そしてこの予選会でも2次トーナメント1回戦で品川貴紀/中本圭哉の大学の先輩ペアとのファイナルを制して最終リーグへ。学生らしい、勢いのあるテニスで快進撃。